



令和8年度高島第六小学校 学校経営方針

令和8年4月2日木曜日 LONG職員朝会



高六小 令和8年度 基本方針

- 1 経営方針 自己肯定感を高めて「幸せに生きる」学校**
 ～ 自己肯定感を高めるための方策を具体化できる学校 ～
 (児童にとって、教職員にとって、保護者・地域にとって)

- 児童** 学んでよかったと思える学校(本質に迫る教材研究 子どもを真ん中に据えた教育)
見方・考え方に着目した指導 思考・判断・表現を評価 メタ認知
教職員 働いてよかったと思える学校(児童の成長を意識したかわり)
よい教師は子どもと共に笑い、ダメな教師は子どもを笑う
保護者 子どもを通わせてよかったと思える学校
子どもをよりよく変えることで、保護者も変わっていく よいところを伝える
地域 誇りに思える学校
地域コーディネーターを架け橋とした地域づくり 学校作りは地域づくり

自己肯定感とは、「他人と比較するのではなく、ありのままの自分を認め、尊重し、自己価値を感じることができる心の状態」のことである。

まず、ありのままの自分を肯定し、受け入れることで、現状を適切に、冷静に把握することができる。

高六小にかかわるすべての人にとって、このような基盤があることで、児童が健やかに成長する教育環境を整備できる。

- 2 運営方針 ～トップダウンとボトムアップの調和のとれた学校～**
 ・管理職等から示される経営方針・運営方針(トップダウン)
 ・方針を受けて創造される教職員の主体的な取組(ボトムアップ)
・主任教諭によるミドルアップ・ダウン
 ・運営会の定期開催 トップダウンとボトムアップの調和のため
 ・事務室、用務員室、職員室(2階3階)、給食調理室、校長室の連携、共同、協同、協働

- 3 学習環境の工夫**
 ○当り前の見直し
 ○南校舎集中・ノーチャイム制定着
 児童相互の学び合い
 ○校内の掲示物 精選
 同一掲示物は長期間掲示しない

- 【推奨】**
 ・教室前面には、掲示物等のない状態とする
 ・「授業のユニバーサルデザイン」を図る
【試行推奨】
 ・授業開始時 日直による号令の廃止
 ・始まりの合図は授業者が行い、開始直後に児童に「問い」をもたせる
 ・「問い」が「めあて」につながる

- 令和8年変化の年**
 ○最も強い者や、最も賢い者が生き残るのではない。唯一生き残るのは、**変化できる者**だけである。(ダーウィン)
 ○**前例踏襲**(前々からやっていることに倣って、そのまま受け継ぐこと)、**慣例慣行**(ずっと続けてきていて、きまりのようになっていくこと)からの**脱却**
 ○**現状維持は衰退**

可能な限り「みんな同じ」(これまでの学校の常識)をやめる

- 「そろえる」より、「活かす合う」。ふぞろいなまま、最強の調和へ。○平均を目指さない。個性を研ぎ澄ます。
- パズルのまま、一つになる。(形をそろえず、かみ合うことを重視)

4 学校の役割

- 学校がやるべきことを学校がやる
- 家庭、地域の教育力に委ねられるものは、積極的に委ねていく。
- 学校、保護者、地域の共同・協同・協働、そして役割分担
- 保護者、地域への理解啓発
- 警察、子ども家庭総合支援センター等との積極的連携

④

①トップダウンとボトムアップの調査、大切だと思う。それぞれのよさを生かした学校運営をしていきたい。

②「可能な限りみんな一緒にやめる」という方針によって、個性が生かされる。すごくいい。

③学校の役割と学校以外の役割を分別することの大切さ、昨年度も感じた。放課後のことなど、積極的に外部機関と連携したい。

◆国の方針◆(平成31年1月25日中央教育審議会答申「学校・教師が担う業務に係る3分類」)

(1) 基本的には学校以外が担うべき業務

- ①登下校に関する対応 ②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応
- ③学校徴収金の徴収、管理 ④地域ボランティアとの連絡調整

(2) 学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務

- ⑤調査・統計等への回答等 ⑥児童生徒の休み時間における対応 ⑦校内清掃 ⑧部活動

(3) 教師の業務だが、負担軽減が可能な業務

- ⑨給食時の対応 ⑩授業準備 ⑪学習評価や成績処理 ⑫学校行事の準備、運営
- ⑬進路指導 ⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応

(高六小だより 令和6年度 春休み号より)

5 地域（地域と学校、地域同士、地域と保護者のつながりを深める学校）[㊦]

○iCS委員会、PTA、地域コーディネーター、寺子屋たかろく等との連携[㊦]

○iCS委員会 年間5回以上開催のうち、1回以上、全教職員も参加する委員会を開催[㊦]

1回以上 西台中学校 志村第五小学校と合同開催[㊦]

○地域の教育力活用[㊦]

・かえて保育園、大東文化大学等との連携[㊦]

・地域教材、ゲストティーチャー、交流先等の一覧・共有

①自己肯定感というキーワードが素敵。
自己肯定感が低い子どもたちと出
会うことがある。どうしたら高めてい
るか、考えていきたい。

6 学習指導[㊦]

(1)板橋区授業スタンダードSの具現化[㊦]

(2)指導と評価の一体化[㊦]

(3)「学習内容」と「学習活動」の分別[㊦]

(4)指導計画の立て方[㊦]

①学習内容を確認する[㊦]

②学習内容を習得した状態を確認し、目標を設定する。[㊦]

③目標を達成した時の具体的評価規準（**ループリック**）を設定[㊦]

④（**児童の実態に即した具体的な**）評価規準を達成させるための手だてを考案する[㊦]

※週ごとの指導計画（週案簿）作成時、「ループリック」もしくは「本時の目標を達成した
具体的な児童の姿を表した評価規準」を念頭に置いた計画を立てる。[㊦]

・具体的とは…児童の姿が目浮かぶめあて、もしくは評価規準[㊦]

(5)振り返り時間の確保[㊦]

・学習内容の振り返り

・次時の問い、めあてにつながる振り返り（教師が与えるめあてからの脱却）[㊦]

・メタ認知能力の向上

・めあてとの整合性

①校長の方針を聞いて安心した。組織的に
がんばりたい。研究担
当として、教職員の指
導力向上、児童の学力
向上に貢献したい。

①思考・判断・表現に着目した指
導、メタ認知、指導と評価の充実の
大切さを痛感。

①学習発表会が毎年あることが
印象的。がんばっていきたい。

7 生活指導

(1) 基本方針

話し合う生活指導 指導の在り方を検討する生活指導部会 生活指導連絡会

指導の主体は教師

ハンカチ理論 児童のよいところを引き延ばすことによって、児童の課題解決を図る

(2) めりはりのある生活指導

・学習指導同様、指導と評価の一体化を図る。

・学校の役割、家庭の役割、地域の役割の意識化(学校の役割の明確化)

(3) 生活指導と特別支援の分別

・生活指導は、学習指導と同様指導と評価の一体化を図る。

・生活指導の主語は教職員

①変化の年!生活指導も変えていきたい。理想は、生活指導においても、児童のメタ認知を大切にすること。

8 服務事故防止・働き方

(1) 服務事故防止

・高島第六小学校では、服務事故を絶対に起こさない。

・服務事故防止研修を実施する必要性がなくなる社会を目指して

自己肯定感を高められている学校では、服務事故は絶対に起こらない。

自己肯定感が高められている社会では、服務事故防止研修の必要はない。

・校長、副校長、主幹教諭、主任教諭、教諭による服務事故防止研修の実現を検討

(2) 危機管理

・安全・安心が保障された学校づくり 児童の学校生活における安全管理

9 その他

・学校経営方針に準じた自己申告書の作成

自己申告書 いつまでに どのように どの程度

具体的な当初目標があることで、具体的な最終申告が実現する

学習指導で具体的な評価規準を設定することが重要であると同様、自己申告書の目標も具体的に作る。

①働き方改革を推進し、授業に力を入れていきたい。そのために、Classroomのシェア等することで、授業力向上のための方策を共有したい。

①ことばの教室も変化の年である。指導時間の工夫を講じた。通常の学級等の教職員も、積極的に「ことばの教室の指導」を参観してほしい。

令和8年度 高島第六小学校 変化の年

「最も強い者や、最も賢い者が生き残るのではない。唯一生き残るのは、**変化できる者**だけである。」
(ダーウィン)



前例踏襲（前々からやっていることに倣って、そのまま受け継ぐこと）、慣例慣行（ずっと続けてきていて、きまりのようになっていること）からの脱却

現状維持は衰退



前例踏襲

（前々からやっていることに倣って、そのまま受け継ぐこと）



慣例慣行

（ずっと続けてきていて、きまりのようになっていること）



現状維持は衰退↓



変化は成長↗

令和8年 高島第六小学校 変化の年



経営方針 自己肯定感を高めて「幸せに生きる」学校
～ 自己肯定感を高めるための方策を具体化できる学校 ～



児童にとって



教職員にとって



保護者・地域にとって
にとって

令和8年変化の年

児童 学んでよかったと思える学校(本質に迫る教材研究 子どもを真ん中に据えた教育)
見方・考え方に着目した指導 思考・判断・表現を評価 メタ認知

教職員 働いてよかったと思える学校(児童の成長を意識したかかわり)
よい教師は子どもと共に笑い、ダメな教師は子どもを笑う

保護者 子どもを通わせてよかったと思える学校
子どもをよりよく変えることで、保護者も変わっていく よいところを伝える

地域 誇りに思える学校
地域コーディネーターを架け橋とした地域づくり 学校作りは地域づくり

児童を多面的に見るために・・・

- ・職員室での会話が学校の文化をつくる 
- ・児童 保護者 地域等のことを「決めつけない」 
- ・色眼鏡をかけない 

よい教師は子どもと共に笑い、ダメな教師は子どもを笑う

学校には、

しなければならないこと

と    &
してはいけないこと
しかない。



高島第六小学校 基本方針

可能な限り「みんな同じ」（これまでの学校の常識）をやめる



「そろえる」より、
「活かし合う」。
ふぞろいなまま、
最強の調和へ。



平均を目指さない。
個性を研ぎ澄ます。



パズルのまま、
一つになる。（形
をそろえず、かみ
合うことを重視）

ユネスコスクール チャレンジ校 加盟の検討

板橋区としてユネスコスクールの加盟を積極的に推進
環境教育、人権教育等でチャレンジ校の申請を検討
校内研究とは分別して取り組む



板橋区の推進

板橋区として
ユネスコスクールの
加盟を積極的に推進



活動内容と申請

環境教育、人権教育
等でチャレンジ校の
申請を検討



取り組みの方針

校内研究とは
分別して取り組む

高六小 基本方針 多様な働き方



長期休業中の自宅勤務推奨

執務開始時と終了時

クラスルームで執務内容入力報告



夏季休業中の閉庁日拡大 12日間



自宅療養中のオンライン授業

【高島第六小学校】保護者会配付資料

ありますので、毎月の学校よりご確認ください。

(数) 該当する学年を表します。例：(5) …5年生

	7	8	二 学 期	9	10	11	12	三 学 期	
	曜	行	事	曜	行	事	曜	行	事
	水	校内研究授業	土	いたばし花火大会	1	火	休業式 4時間授業 金沢移動教室(5) 2日目(朝民の日)	日	火
	木		日		2	水	給食給 計測(6) こ とば給	金	5年のみ振替休業日
	金		月	学校開庁日給	3	木	計測(5)	土	西台天祖神社 秋 季例大祭
5)	土	寺子屋たかく	火		4	金	計測(4)	日	西台天祖神社 秋 季例大祭
	日		水		5	土	寺子屋たかく	月	委員会活動
	月	クラブ活動	木		6	日		火	運動会全校練習
	火		金		7	月	委員会活動 計測(2)	水	4時間授業
指 6	水	避難訓練	土		8	火	計測(1)	木	運動会全校練習予 備
	木	誕生日給食	日		9	水	計測(3)	金	前期通知表記配布
	金		月		10	木	誕生日給食(8月 分)	土	
	土		火	山の日	11	金		日	おやじの会 校内ファミリー スロープの日
	日		水		12	土		月	おやじの会 校内ファミリー スロープの日
	月	ことば1学期指導終	木		13	日	あわたか2026 (阿波踊り大会)	火	運動会係活動(6)
	火	なかよし班活動	金		14	月	クラブ活動	水	運動会全校練習
り	水	セーフティ教室(12)	土		15	火		木	運動会全校練習予 備日 誕生日給食
り 業	木	大掃除 給食終	日		16	水	校内研究授業	金	前日準備(5・6) 運動会リハーサル
り	金	終業式 4時間授業	月		17	木		土	運動会 土曜授業プラン
	土	夏季休業日給	火		18	金	なかよし班活動	日	(予備日)運動会 土曜授業プラン
	日		水	学校開庁日終	19	土		月	振替休業日
	月	海の日	木		20	日		火	読書週間始
	火	個人面談①	金	高島平一丁目町会 盆踊り大会	21	月	敬老の日	水	学びのエリア研修会 (高六会場)
	水	個人面談②	土	高島平一丁目町会 盆踊り大会	22	火	国民の休日	木	避難訓練(4年・5 年・6年・7年・8 年・9年・10年・消 火体験)

電話応答時間

○令和7年4月18日職員夕会での周知内容

○学校だより令和7年度5月号でお知らせ

○設定変更(令和7年度)

・7月22日火曜日から

・9月以降も継続

・学校だより夏休み号
及び9月号で案内

「自己肯定感を高めるための方策」を具体化できる学校をつくります ホームページ 更新中 <https://www.ita.ed.jp/1310300>



高六小だより

令和7年度 5月号

発行日 令和7年5月1日

発行者 板橋区立高島第六小学校

Tel: 03 (3935) 2550 Fax: 03 (3937) 2681 メール taka6es@ita.ed.jp

○電話の自動応答について

本校の電話応答時間につきまして、現在午後5時30分までとなっていますが、今年度中に学校の開庁時間（午前8時15分から午後4時45分まで）に合わせた設定に変更予定です。

学校にお電話くださる場合は、開庁時間内にお電話をいただけますよう御協力ください。

インターホン応答可能時間

インターホン応答可能時間

「高六小だより5月号」で、電話連絡の際は学校の開庁時間(8:15-16:45)にお電話していただくようお願いしました。

校舎正門にあるインターホン応答可能時間も、電話応答と同様に開庁時間内となります。開庁時間外は、校内に執務中の職員がいても応答できないことがありますので御理解ください。

高六小 電話対応について

基本

△高島第六小学校でございます

○電話応答の基本 名前を名乗る

※時間外はとらない

※電話連絡のメモは必ず残す（「またお電話します」と言われた場合も）

席をはずしている場合（会議中・打合せ中・作業中）

⚠ ただちに放送で呼び出さない ～

- ・申し訳ありません。ただいま席をはずしているのですが、いかがいたしましょうか。🗣️
- ・内線で呼び出してみます。少々お待ちください。🗣️
- ・内線で呼び出しましたが、作業中ようです。校内におりますので、放送で呼び出しましょうか。（放送で呼ぶかどうかを先方に委ねる）🗣️
- ・御伝言ございましたら承ります。🗣️

（会議中の自動応答も検討）⚙️

十和葉会

教職員の同僚性構築のために…！
積極的な入会を…！



対象は教職員全員

積極的な入会を…！



対象は教職員全員

私費会計の取扱

学校は現金を取り扱わない(原則)

- ・見通しをもった執行計画

- 校外学習 交通費等

- ・教材購入の際の集金オンライン化の推奨

高六小 豊かな 会議開催

運営会(5名) 企画委員会



▼運営会

名称 主幹会→運営会

- ・校長 副校長 主幹教諭 生活指導主任
- ・クラブ活動・委員会活動の裏等で開催



▼企画委員会



▼職員会議



高島第六小学校基本方針 みんなが知っている状態を大切に

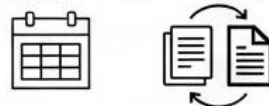
- 当日の動静:出張・予定 休暇等予定の共有
- 職員夕会議事録:不在者の確実な記入 不在者の確実な確認

- 会議開催時刻・開催場所 職員室ホワイトボードに記載
【目標】放送による招集をせずに定刻に会議を開催

- 共通理解(みんなが知っている状態) から 共通実践へ
- みんなが知っている状態からみんなで取り組む状態へ
- グループではなく、チームへ

- 毎日確認 ホワイトボード、後方黒板、C4th (高六小クラスルーム)
(Googleカレンダーの活用検討)

情報共有の徹底



会議運営の効率化



意識改革と活用ツール

高六小基本方針 読めば分かることを細かく確認しない

令和7年度 学校評価より

企画委員会、職員会議の時間をもう少し短縮できるとよい。企画に出ている教員は、職員会議を含めると**2～3時間**に及ぶ。

企画委員会：提案文書を企画委員会1週間前までに起案→ドライブに資料を載せる→事前に各自が読み込む→質疑応答から始める※質問・意見はコメントで入力したり、余裕があれば回答も運営前までにできるとよい

職員会議：**それぞれの提案について、質疑応答から始める。**



高六小基本方針 みんなが知っている状態に...

令和7年度学校評価より

- 夕会や三部会や行事委員会等の会議記録をオンライン上で作成、管理することは可能か？
- 職員会議に出られないときがあるので記録が見たい。...
- ドライブ上で一元管理すればだれでもいつでも見れると思うのですが...
- 会議記録の場所を知りたい。...

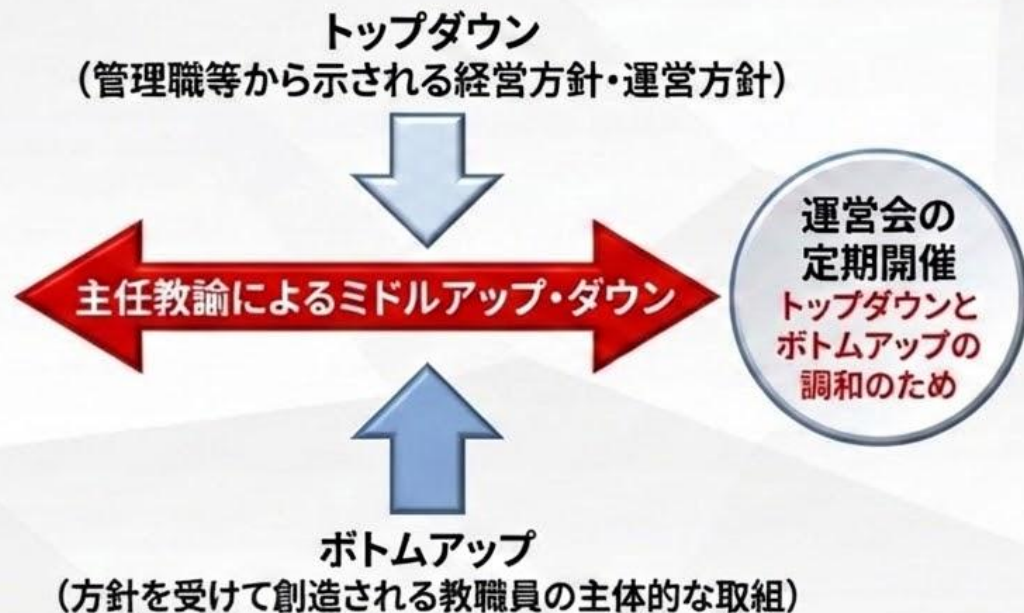
会議記録等、デジタル化を推進

- 全議事録のデータ化
- 決裁、欠席職員の確認印は☒入力
- 1 ファイル形式 1つのスプレッドシートに全情報を集約 
- 2 該当会議(シートごとに分別) 
 - ①主幹会(運営会) ②企画委員会 ③職員会議 ④職員夕会 ⑤生活指導部 ⑥特別活動部
 - ⑦研究推進部 ⑧学力向上委員会 ⑨ICT推進委員会 ⑩運動会委員会 ⑪展覧会委員会
 - ⑫卒業式委員会 ⑬入学式委員会 ⑭他
- 3 入力項目 
 - ①開催日時(○月○日○曜日 ○時○分から○時○分まで) ②出席者
 - ③欠席者(議事録確認☒欄を含む) ④議事録 ⑤備考
- 4 その他 
 - ・会議開催中に議事入力

令和8年度 高島第六小学校 変化の年

2 運営方針 ～トップダウンとボトムアップの調和のとれた学校～

- ・管理職等から示される経営方針・運営方針(トップダウン)
- ・方針を受けて創造される教職員の主体的な取組(ボトムアップ)
- ・主任教諭によるミドルアップ・ダウン
- ・運営会の定期開催 トップダウンとボトムアップの調和のため
- ・事務室、用務員室、職員室(2階3階)、給食調理室、校長室の連携、共同、協同、協働



学校の役割 ～高六小 学校経営方針～

- 学校がやるべきことを学校がやる
- 家庭、地域の教育力に委ねられるものは、積極的に委ねていく。
- 学校、保護者、地域の共同・協同・協働、そして役割分担
- 保護者、地域への理解啓発
- 警察、子ども家庭総合支援センター等との積極的連携

◆国の方針◆（平成31年1月25日中央教育審議会答申「学校・教師が担う業務に係る3分類」）

（1）基本的には学校以外が担うべき業務

- ①登下校に関する対応 ②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応
- ③学校徴収金の徴収、管理 ④地域ボランティアとの連絡調整

（2）学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務

- ⑤調査・統計等への回答 ⑥児童生徒の休み時間における対応 ⑦校内清掃 ⑧部活動

（3）教師の業務だが、負担軽減が可能な業務

- ⑨給食時の対応 ⑩授業準備 ⑪学習評価や成績処理 ⑫学校行事の準備、運営
- ⑬進路指導 ⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応

令和8年度 高六小 担当学年等

担当  学年・教科等

- 図画工作科専科 3・4・5・6年図工
- 音楽専科  3・4・5・6年図工
- 算数習熟度別指導担当 3・4・6年算数
- 社会科専科  3・4・5・6年 社会(5年2組5年3組を除く)
- 5年サポーター 5年算数 5年2組・5年3組社会
- 絹川 1・2年図工 2年算数
- 神田 5・6年家庭科 6年外国語
- 宮下 3・4年外国語活動
- ことばの教室(言語障害学級)「ことばの教室 教育計画」に準ずる



高島第六小学校 令和8年度 基本方針

質の高い授業をめざして

○専門性をいかした指導

教科担任制を意識した交換授業

1学期間の社会科専科

○板橋区授業スタンダードSの具現化

○指導と評価の一体化

○「学習内容」と「学習活動」の分別

○指導計画の立て方

①学習内容を確認する

②学習内容を習得した状態を確認し、目標を設定する。

③目標を達成した時の具体的評価規準(ルーブリック)を設定

④(児童の実態に即した具体的な)評価規準を達成させるための手だてを考案する

※週ごとの指導計画(週案簿)作成時、「ルーブリック」もしくは「本時の目標を達成した具体的な児童の姿を表した評価規準」を念頭に置いた計画を立てる。

・具体的とは…児童の姿が目に見え、もしくは評価規準

○振り返り時間の確保

・ルーブリックの振り返り ・次時の問い、めあてにつながる振り返り(教師が与えるめあてからの脱却)

・メタ認知能力の向上 ・めあてとの整合性

学習指導

- 知識・技能に偏らない学習指導
- 各教科等の見方・考え方に着目した指導
- 思考・判断・表現を評価
- メタ認知
 - 今日働かせた見方は...
 - 今日働かせてよかった考え方は...
 - 友達の考え方で自分の考え方に影響を与えたのは...
 - 今日の学び方は...



令和6年度
社会

令和7年度
前のめり ➡

令和8年度
前のめり 2年目



OJT

協議会の工夫



ルーブリック評価



**教科等の本質に迫った
教材研究**

主体的・対話的で深い学び



前のめり

マエノメリの木



教師の声かけ
どうする？

③ 選択・判断する場をつくる

個に応じた
指導

② ゴールイメージ
ループリックの共有

① しっかりとした教材研究
各教科の見方・考え方

前のめりを実現するために④



ルーブリックの設定



ルーブリックとは？

学習者の姿を評価するための
評価基準を表で表したもの



- ・ 学習者は意欲的に学習できる
- ・ メタ認知力の向上
- ・ 自己調整力の向上



児童：何をしたらよいか分からない
教師：「～しよう」「～しなさい」

居場所 児童 保護者

さくらルーム

会議室

ランチルーム

保健室

職員室

校長室

児童の居場所づくり委員会

必要に応じた積極的な居場所確保（児童・保護者）

地域等との伴走

PTA 高六小おやじの会 高島平一丁目町会 商店会 少年野球チーム

地域行事 寺子屋たかろく

芝の管理

学校公開 iCS委員への呼びかけ

校内研究 研究授業 iCS委員 保護者への参観呼びかけ

学力向上委員会

学習発表会の取組・集約

総合的な学習の時間の指導計画見直し

高六小 児童下校後の会議設定可能時間

最終下校時刻 15:15

会議設定可能時間 15:20-15:45



校内支援委員会

ICT推進委員会

学力向上委員会

ミニケース会議

その他、各種委員会

OJT実施も可能



高六小 経営支援部会の目的



児童の健やかな成長のためのよりよい教育環境の構築

主にハード面

気になる

みんなが
知っている状態

行動

それぞれが気付いて
それぞれが動く

それぞれの気付きや行動を
みんなが知っている状態に！

共に歩む…



職員室



事務室



主事室



校長室



令和7年度 高六小教育方針

文化的行事の在り方

展覧会・音楽会・学習発表会

3年に1回実施

6年度 音楽会
→7年度 学習発表会
→8年度 展覧会
→9年度 音楽会…



学習発表会 毎年実施

文化的行事



音楽会・展覧会

隔年実施

6年度 音楽会
→7年度 展覧会
→8年度 音楽会
→9年度 展覧会…



生活科・総合的な学習の時間等の
学習発表の場

令和6年度4年生 学習発表の様子

運営の形態

- ・発表3分間
- ・3年生感想記入・4年生準備タイム1分間
- ・学年全体で12グループに分かれ、5ターン実施
- ・グループ発表ではなく、全児童が1人で発表する経験を確認

教育効果

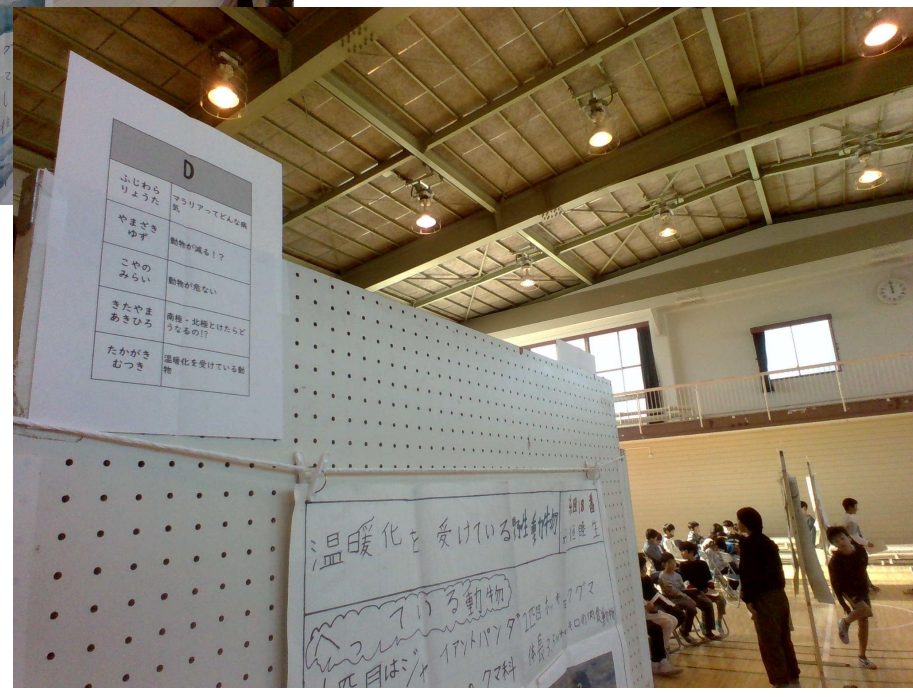
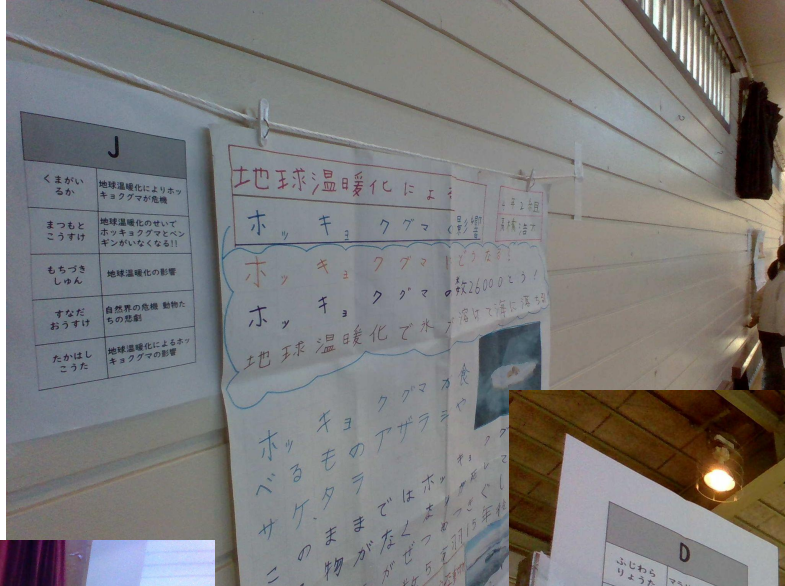
- 探究的な学習の実現化
- 総合的な学習の時間で大切にしている探究4ステップの具現化

探究プロセス

- ・自ら課題を設定し、解決に向けて情報収集・整理・分析するのが「探究学習」
- ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・**表現** の4段階







学年別 学習発表・交流活動ガイド

各学年の学習成果と交流活動を一目で把握：地域・異学年・未来への連携

1～3年生：地域とつながる交流活動

1年生：幼保小 交流会（2月20日）



幼稚園・保育園児を招待し、
学校置内と一緒に遊ぶ体験
を通じて交流します。

2年生：昔遊びを 1年生に伝承



地域の方々（高一寿会）から
学んだ昔遊びを、後輩であ
る1年生に教えます。

3年生：地域の 行事の調査報告



主催者へのインタビューを
基に、地域の行事について2
年生や保護者に発表します。

4～6年生：探究学習と校内への発信

4年生：環境と 文化の選択発表



「地球温暖化」または「日本
の文化」から選んだテーマを
3年生へ発表します。

5年生：ビオトープ の役割周知



地域と連携して修繕したビ
オトープの重要性を、全校
児童に向けて発信します。

6年生：日光移動教室 の学びを共有



7月に実施した日光に関する
学習成果を、次年度に行く5
年生へ伝えます。

日常業務

○週の計画簿(週案簿)

- ・C4th、その他パソコンで作成の場合は、週案簿のノートに貼って提出ではなく、ファイル等に綴じて提出
- ・A4サイズで複写をとり、挟んで提出

○文書決裁

- ・起案スタンプは文書に直接押印 付箋は使用しない
- ・起案文書は画板に挟んで回覧

教室の学習環境整備

【推奨】

教室前面には、掲示物を貼らない
授業のユニバーサルデザイン

【試行推奨】

授業開始時 日直による号令の廃止
始まりの合図は授業者が行い、開始直後に児童に問いをもたせる
「問い」が「めあて」につながる



ほうそう ~~放送~~





じかん

「時間だよ」



時間だよ!





じぶんたちで
たかめあえる
たかろうしょう





令和8年度高島第六小学校 学校経営方針

令和8年4月2日木曜日 LONG職員朝会



指導と評価の一体化 → 達成感 → 自己肯定感の向上

生活指導

時を守り 場を清め 礼を正す

ABCDの原則(凡事徹底)

生活指導の指導と評価の一体化

評価...①教育的効果の検証 ②児童に対する価値付け、称賛

学習指導

アウトプット型めあて(○○について考えよう→○○について考えて○○に書こう)

児童の実態に即した **具体的な評価規準** (目指す子どもの姿の具体化)

○学習環境の整備

- ・教室環境の整備 黒板 カーテンレール 更衣用仕切りカーテン
- ・フックの増設 廊下 教室内

経営支援部会 庶務部を中心とした教育環境改善

S字型フックを固定フックに！

子どもたちの荷物 整理整頓のために



【校長日記】3年教室の廊下にフック増設

掲載日:2025/04/08

更新日:2025/04/08

報告者:校長



【校長日記】廊下のフック 取付風景

掲載日:2025/04/08

更新日:2025/04/08

報告者:校長



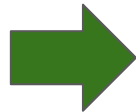
これは、先ほどご紹介した**固定フック**取り付け風景です。
予算節約のため、業者に依頼せず**本校の用務主事**が丁寧に
取り付けてくれました。(校長)



令和7年度 高六小教育方針

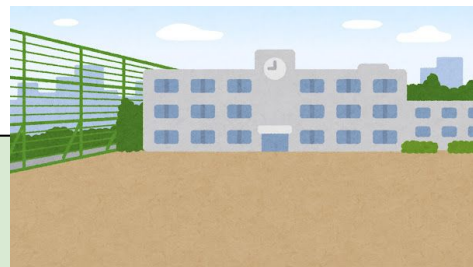
教室配置

1年 南校舎1階
2年 南校舎2階
3年 西校舎2階
4年 西校舎3階
5年 南校舎3階
6年 南校舎4階



案

1年 南校舎1階
2年 南校舎2階
3年 南校舎2階
4年 南校舎3階
5年 南校舎4階
6年 南校舎4階



校舎全体に分散



南校舎に集中
異学年交流の充実

児童相互に学び合える環境の構築

○乗り越えること ソフト面

- ・異学年交流が深まるということは、
異学年によるトラブルが増えるということ
→成長の機会が増えるということ

令和7年度教育方針 ノーチャイム制開始にあたって

○心掛けたいこと

- ・教師に声を掛けられて動くのではなく、
上級生や児童同士で声を掛け合える関係構築をねらう
- ・高学年の活躍の場を教員が作る

（時を守り 場を清め 礼を正す）

・ノーチャイム制のデメリット

授業開始時刻、終了時刻の分かりにくさ
休み時間と学習時間の区別を付けにくい児童

児童会活動の充実

- ・児童ができることは児童にさせる

令和7年度基本方針

当たり前の見直し

「当たり前だからやる」「今までやってきたからやる」からの脱却
本当に必要か、なくしてみたらどうなるか、教育的な意義の再確認

- ・ランドセルを廃止してみたら...？
- ・サマータイムを導入したら...
- ・上履きがなくても大丈夫かも？
- ・日直の号令は必要？
- ・朝の会 帰りの会はしないといけないもの？
- ・運動会の種目を考えるのは教師？
- ・校帽は「つば広帽」
- ・その他

令和7年度基本方針

揭示物の精選

同一揭示物は長期間揭示しない

学校の役割



高六小だより

令和6年度 春休み号

発行日 令和7年3月24日

発行者 板橋区立高島第六小学校

Tel : 03 (3935) 2550 Fax : 03 (3937) 2681

メール taka6es@ita.ed.jp

学校の役割

校長 寺内 崇

◆考えさせられたこと◆

ある日、近隣の方からお電話をいただきました。本校の児童が放課後に外出して帰宅したところ、御家族との連絡の行き違いがあって一時的に自宅に入れない状況でした。その子は鍵をもっていないため、自宅に入れません。心配された近隣の方が学校までお電話をくださり、無事に保護者の方と連絡をとることができました。御連絡をいただいた近隣の方に感謝です。しかし、保護者の方は帰宅まで時間がかかることが分かりました。保護者の方が帰宅するまでの間、その子の安全確保が必要です。担任が自ら「**自宅まで行きます**」と申し出てくれ、関係機関の協力もいただき、事なきを得ました。

御連絡をいただいた時間は、勤務時間外でした。担任が「自宅まで行く」と申し出たのは退勤時刻後だったのです。教職員が公務で学校外に出るのは、出張扱いです。教職員は、管理職の出張命令がなければ勝手に校外には出られません。そして、勤務時間外に公務で出張命令を出すのは、簡単なことではありません。そう考えると、自ら出かけてくれた担任の行動には、感謝しかありません。しかし、実は担任はその時間、個人的な予定が入っていたのです。

児童の安全確保が最優先なのは、言うまでもありません。考えてみたいことは、放課後の時間等における学校の役割です。

◆国の方針◆（平成31年1月25日中央教育審議会答申「学校・教師が担う業務に係る3分類」）

（1）基本的には学校以外が担うべき業務

- ①登下校に関する対応 ②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応
- ③学校徴収金の徴収、管理 ④地域ボランティアとの連絡調整

（2）学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務

- ⑤調査・統計等への回答等 ⑥児童生徒の休み時間における対応 ⑦校内清掃 ⑧部活動

（3）教師の業務だが、負担軽減が可能な業務

- ⑨給食時の対応 ⑩授業準備 ⑪学習評価や成績処理 ⑫学校行事の準備、運営
- ⑬進路指導 ⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応

◆よりよい授業のために◆

令和6年度の結びにあたり、1年間考えさせられたことについて記載させていただきました。学校生活の多くの時間を占めるのは授業です。よりよい授業を提供することができるよう、教員が授業準備に時間を割き、「児童の成長の架け橋となる質の高い授業が提供できる...、そんな学校づくり」をこれからも進めてまいります。そのためには、関係機関との連携と、保護者や地域の皆様の御理解御協力が不可欠です。今後とも、高島第六小学校のことをよろしく願いいたします。

人権教育の推進

人権感覚の向上

学習成果物を掲示する際は、掲示前に誤字脱字の確認をする。

児童の名前の呼び方 さん付け呼称

名字さん付け、名字が同一の場合、

高圧的な指導ではなく、温和な指導を



高六小だより

令和6年度 3月号

発行日 令和7年2月28日

発行者 板橋区立高島第六小学校

<https://www.ita.ed.jp/1310300> Tel: 03 (3935) 2550 メール taka6es@ita.ed.jp

言葉と伴走 (お世話になっています 保護者対応 70% ナイフと毛布)

校長 寺内 崇

◆教職員が保護者の方へ届ける挨拶は、「お世話になっています」？◆

お電話などで教職員が保護者の方と話をするとき、「お世話になっています」と挨拶することがあります。この言葉に違和感はありませんか。もちろん、保護者の方に御理解御協力いただいて学校教育が成り立っていますので、保護者の皆様へは多大なる感謝の気持ちを抱いています。

学校は、大切なお子様をお預かりしています。教職員と保護者の皆様の関係は、子どもたちを共に成長させていくためのパートナーです。保護者の方と学校が伴走して子どもたちの成長や活躍を願う、そんな関係性が大切なのは言うまでもありません。こう考えると、保護者の方には「お世話になっています」という言葉よりも、もっとよい言葉があるように思うのです。

だから私は、保護者の方とお会いすると「いつもありがとうございます」と言うようにしています。ちょっとした言葉の違いですが、受ける印象はずいぶん違うように思うのです。

◆「保護者対応」という言葉◆

学校には、「保護者対応」という言葉があります。どこの学校でもよく使われる言葉です。文字どおり、「保護者の御対応をする」という意味です。私も使います。でも、違和感があります。

保護者の方が「保護者対応」という言葉を聞いてどんなことを思うのでしょうか。はたして保護者の皆様は、学校から対応されるべきお立場なののでしょうか。子どもたちの健やかな成長や活躍を願うために保護者の方と学校が伴走するならば、一方が一方を対応するのではなく、相互に尊重し合い、思いを重ねながら子どもたちの成長や活躍のために力を合わせる大切なのではないのでしょうか。

保護者との伴走

○PTA

令和7年度 PTA学年委員【学校(学年)と保護者をつなぐ役割】
と担任の連絡方法

- ・主に学校代表メールを用いた連絡をする。

○PTA本部役員と教職員の懇談会

年間2回程度 定期開催 任意参加

○保護者有志の茶話会 ランチルーム

(「行き渋り」や「学校へ足が向かない」、
「学校生活と子どもたち」などについて話す会)

特別支援教育の充実

- ・校内支援委員会とケース会議 二本立ての年間計画
WISC(対象児童の選定、調整)、ケース会議
特別支援教育アドバイザー連絡調整、スクールソーシャルワーカー連絡調整
- ・生活指導部会の中に位置づける
- ・保護者への連絡窓口 主担当は担任

特別支援の推進と生活指導の区別

- ・生活指導の指導と評価の一体化
- ・特別支援の推進

地域との伴走(令和7年度)

・寺子屋たかろく

使用教室

しょうどうクラブ	2階 2年算数教室
パソコンクラブ	3階 算数教室
おことクラブ	2階 ふれあいルーム(和室)
おどりクラブ	マルチパーパス
そろばんクラブ	図工室
えいごクラブ	2階 図書室
かがくクラブ	理科室
しゅげいクラブ	4階 家庭科室
クリケットクラブ	校庭
スポーツクラブ	体育館